

緑の地球

GREEN EARTH

地球環境のための国境をこえた民衆の協力



今年で4回目の東北海岸林再生活動。宮城県岩沼市でゆりりん愛護会主催の植樹祭に参加した。

Contents

- 運営懇談会にご参加ください P 2
- 年末寄付のお願い P 3
- 大同緑化協力 25 年の軌跡 P 4
- 中国での植樹経験を通じて感じたこと P 5

2018.11
184

認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク

運営懇談会にご参加ください

今年も東京と大阪で運営懇談会を開催します。運営懇談会は GEN の活動を支える会員のみなさんに自由に意見を出していただき、会の活動と運営に生かす場として毎年東京と大阪でおこなっています。

これまで運営懇談会から出たさまざまな意見やアイデアが GEN の活動に生かされています。

今回も中国での緑化活動についてはもちろん、国内の活動についてなど幅広く意見を募りたいと思いますので、ぜひみなさんの参加をお待ちしています。

す。

【東京会場】

○日時：12 月 1 日（土）14 時～17 時 30 分

○会場：淑徳大学東京キャンパス 4 号館 3 階フリースペース（東京都板橋区前野町 2-29-3 東武東上線「ときわ台駅」徒歩 12 分。ときわ台駅からバスの場合は「赤羽駅西口行」乗車、「前野小学校」下車）

○参加費無料、事前申し込み不要

○終了後、懇親会を予定しています。会費は 3,500 円程度。懇親会参加ご

希望のかたは 11 月 22 日（木）までに村松さん（mura_koichi@hotmail.com）までご連絡ください。

【大阪会場】

○日時：12 月 8 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分

○会場：クレオ大阪中央研修室（2）（大阪市天王寺区夕汐 5-6-25 大阪メトロ谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」1、2 号出口から東北へ徒歩 3 分）

○参加費無料、事前申し込み不要ですが、参加をご希望の方は GEN 事務所までご連絡ください。

○終了後、懇親会を予定しています。会費 4,000 円程度。懇親会参加ご希望のかたは 12 月 5 日（水）までに GEN 事務所へお申込みください。



秋の京都でキノコに出会う

白川 千尋さん（GEN 会員）

10 月 20 日、京都の吉田山で GEN 自然と親しむ会「秋のキノコを探しに行こう」をおこない、14 名が参加しました。

GEN 会報を読んでいるとなんとなく素敵なイベントのお知らせが目飛び込んできた。素敵とは言ったものの、私はキノコについて全く知らない。その見た目のかわいさやどぎつさや地味さに興味を抱いてはいたものの、自らキノコについて学ぶ気はおきず、時は過ぎていった。この機会に、キノコの世界に一歩足を踏み入れてみよう。もしかしたら、食べられるキノコを採れるかもしれない…と食欲（ときのご観察への意欲）がわいてきたのだった。

当日の朝、少し雨が降り、キノコをみつけるには最適なコンディションではないことを講師の栗栖敏浩さんに聞いた。キノコはジメジメしたところが好きで、雨が降った後だから、ニョキニョキ生えてくるのではないかと勝手に思い込んでいたが、数日経ってからのほうが、キノコは成長するそう。

今回の観察場所は京大裏にある吉田山。鳥居のそばに、「カエンタケに注

意！」と書かれた看板があった。カエンタケは読んで字のごとく、火のように赤い色をしており、触るだけでも炎症を引き起こす毒キノコだ。危険なキノコだけど、見てみたい…！と思ったのは私だけではなく、他の参加者の方々も同じ気持ちだった。しかし残念ながらカエンタケは姿を現さなかった。

キノコは眺めているだけでは簡単には見つからない。葉っぱに埋もれていることもあるので葉っぱをよけてみたり、木の根元辺りを注意深く探してみたり、思っていたよりも難しかった。最初は全く見つけれなかったが、倒木に生えている硬いキノコ（サルノコシカケのなかま）は簡単に見つかるようになってきた。しかし、サルノコシカケには悪いが、私はあの傘のあるキノコらしいキノコをみつきたいのだ！と心の中で焦り始めていた。結果、自力で見つけられた傘のあるキノコはなく、他の方が見つけたものの近くに

生えているキノコをちゃっかり採集したのであった。

山頂で栗栖さんが採集したキノコを種別ごとにわけ、それぞれ解説していただいた。参加者は私を含め 14 名だったが、見つけたキノコは 30 種類ほどと多く、驚いた。見た目は似ているけれど、傘の裏の模様、柄、根元の部分等見分けるポイントがいくつかあり、専門家でもパッとみただけではわからないものも多いそう。見た目が美味しそうで肉厚そうなカキシメジは、私を含めた一部参加者の人気者だったが、毒があると聞いて「ああ、残念…！」と惜しがった。

食欲だけでキノコを探していると、いつか毒キノコにあたって死んでしまうかもしれない。ここに書くまでもないが、キノコ探しには、十分な知識と経験が必要である。



採取したキノコを同定し、解説してもらう

年末寄付にご協力をお願いします

いつも GEN を応援していただき、どうもありがとうございます。7 月の寄付のお願いでは多くのかたからご協力をいただき、感謝しております。上半期は高額な寄付があったこともあり、寄付金収入は予算の 70% に達することができました。

しかし GEN の財政が厳しいことには

変わりありません。河北省蔚県での緑化協力はスタートから 2 年が経ちましたが、木を育てるには長い年月を必要とします。みなさまの末永いご協力をお願いいたします。

緑化基金、運営資金、東北の海岸林再生、どの項目への寄付も歓迎です。決められない、という方はおまかせカ



現場で知る津波の破壊力

藤原 國雄さん（GEN 顧問）

9 月 16 日～17 日の日程で東北の海岸林再生プロジェクト協カツアをおこない、5 名が参加しました。

私の東北植林ツアーの目的は①沙漠緑化の師匠である遠田元 GEN 顧問のお見舞い ②植林 ③リアス海岸の津波被災の状況の視察の 3 つでした。

当日は地下鉄黒松駅に 3 名が関西から空路／陸路で、1 名が新幹線で、1 名が前乗りで集まり、遠田先生のお宅をお訪ねしました。最初はお声にお元気が無かったのですが、そのうち元気なお声を聞くことができるようになり、安心しました。

その後レンタカーで移動し、名取市の「ゆりりん愛護会」の大橋会長と合流しました。大橋さんに日和山の波にさらわれた海岸林、震災遺構の旧荒浜小学校を案内していただきました。津波のすさまじい破壊力や寄せ波の高さなどを目の当たりにして、ショックから抜け出せませんでした。

翌日はゆりりん愛護会のみなさんと海岸林に菌根菌の付いたマツの植林をしました。植林現場に行く途中、宮脇方式のタブノキを主体に多くの木の苗を植えた植林現場とクロマツを主体の小川眞方式の植林現場を見ることができました。

最終的には多様性のある森がゴール

だと思いますが、中国黄土高原や伊豆の海岸林で森作りをしている私には「苗木代はどうするのだろうか？」と考えてしまいました。宮脇方式で作られた現場はクズやセイタカアワダチソウが生い茂り、素人のボランティアには管理が難しいだろうなと思いました。

他方、小川眞方式のクロマツ林は整然としており、実生のマツや菌根菌が沢山出ていることに感心しました。シードソースがあれば、すばらしいマツ林になると思います。

コンテナ方式のマツ苗は植林も簡単で、300 本のマツ苗の定植も 1 時間足らずで終わりました。終了後昼食をいただき、関西組は仙台空港へ、東京からの参加者は新幹線で東京へ向かいましたが、私は盛岡に向かって 1 泊して翌日高速バスで宮古へ、そして北三陸鉄道北リアス線で北上し、途中田老という駅で下車しました。ここは「日本の万里の長城」と言われる、高さ 10 m の防潮堤が 45 年かけて 2.6 km 築かれた地区で、大震災により高さ 10 m の防潮堤を津



ンパにさせていただくと事務局で最も必要としている部分に充当させていただきます。

発送作業の都合上、郵便振替の用紙を一律に同封します。最近にご協力いただいた方には重ねてのお願いではありませんのでご了承くださいますようお願いいたします。

また、GEN への寄付はクレジットカード決済が可能です。詳しくは GEN のホームページをご覧ください（http://gen-tree.org/join_donate/credit.html）。

助成金決定のお知らせ

日中民間緑化協力委員会資金助成金で「河北省蔚県における緑化協力事業」として 895 万円の助成が決まりました。

波は簡単に乗り越え、北鉄の線路までがれきを運びました。「津波テンデコ」が実証された地区です。

私が住む伊豆半島は地形的に田老地区に似ており、新たな津波対策が必要だと実感しました。

その後久慈まで移動し、JR で八戸に行き、翌日伊豆まで帰ってきました。津波のショックは重篤で、表現できるまでひと月かかりました。



マツの成長を確認

大同緑化協力 25 年の軌跡

そこに森林が存在した証

GEN の山西省大同市での 25 年の緑化協力を振り返り、当時の写真も交えてシリーズでご紹介します。今回で 11 回目です。（高見邦雄）

私たちが大同で緑化協力を継続しているあいだに、何本かのテレビ番組が生まれました。NHK-BS2「地球に好奇心」シリーズの「黄土高原～失われた森の文化を求めて」（1999 年 5 月、73 分）もその一つ。

ずっと以前の中国の寺院には木製の塔がありましたが、ある時代から磚塔（レンガの塔）に変わりました。それを映像で追いかけることによって、かつて存在した森林が人間の文明によって失われたことを描こうとしました。そして、森林を取り戻す活動として、緑の地球ネットワークの活動が取り上げられたのです。

こういう物語をつくるのに大同はかっこうの舞台でしょう。大同の中心部から南西 70km のところに応県木塔があります。1056 年の創建で完成までに 140 年を要したといわれ、高さ 67.1m、木造建築としては世界最大級です。柱にはカラマツの大径木が使われ、梁と斗棋などの木組みだけで建てられ、鉄釘などは使われていません。



大同市応県の木塔

法隆寺の宮大工だった西岡常一さんがこの塔について大意このように語っています。法隆寺で使われている技術はすべてこの塔にあるから、法隆寺の技術が中国から伝わってきたことがわかる。しかし応県の木塔に比べ、法隆寺の五重の塔がスマートで優美なのは、軒が長くせりだしているからだ。応県木塔は乾燥地にあるから軒が短くてもいいが、日本は雨が多いので軒が長くないと雨にあたって腐ってしまう。

番組ではさらに雲崗石窟のなかに通し柱を用いた木塔のレリーフがあることを紹介しました。雲崗石窟の造営以前に木塔が存在したことの証明です。

一方の磚塔は、靈丘県の覺山寺の塔です。靈丘の県城から南天門自然植物園にむかう途中の唐河溪谷にあり、見学された方はご記憶でしょう。こちらは 1090 年の創建で高さ 43.5m のみごとな塔です。

応県の木塔に戻ります。いま見学できるのは 1 階だけですが、以前は 3 階まで登ることができ、内部の構造をみることができました。西岡さんの言われるとおり、木造建築の粋が詰まっていたのです。

そのような技術が単独で成立するわけがありません。多数の木造建造物が存在し、そのなかで磨かれた技術の粋がここに集められたわけです。応県の



靈丘県にある覺山寺



現在は取り壊されてしまった南街

木塔を訪れるたびにそんなことを考えていたのですが、なんとそれが裏付けられました。

2004 年 4 月のこと。陽高県の農村でアンズを植えて県城に帰ってくると、私たちのマイクロバスは古くて狭い道路にはいりこみました。屋根が車にぶつかりそうな両側の民家が古びた木造で、すでに傾いているものもあります。まるで京都の町にでも迷い込んだかのように私は感じました。「南街」という明代の町並みで、500 年もたっているのだそう。

柱や梁にずいぶん太い木が使われ、何種類もの斗棋が使われています。ずっと小振りですけど応県の木塔と同じ技術です。県の会議で何度も保存が議題になるそうですが、技術と資金の問題で行き詰まるのだそう。その数年後に取り壊されてしまいました。

その後、大同も豊かになり、古いものの価値も見直されるようになりました。あと何年か持ちこたえていたら、保存が現実になったかもしれません。残念です。

テレビ番組は、最後に靈丘県の碣寺山の自然林を取り上げ、4 月上旬でまだ緑のない木々を映しながら、黄土高原に緑のよみがえる希望を伝えたのでした。李向東さんたちがみつけたし、南天門自然植物園の建設のために背中を押してくれたあの（／5 ページに続く）



応県木塔の斗棋

中国での植樹体験を通じて感じたこと

2018 年は 9 月 6 日～11 日で派遣を予定していた大阪市 R R 厚生会ツアーが台風 21 号の影響で中止になりましたが、9 月 7 日～10 日の日程でイオンリテールワーカーズユニオンのツアーをおこないました。参加した方の報告を掲載します。

現地の人たちの温かさに触れて

中嶋 和希さん（イオンリテールワーカーズユニオン）

今回、私が中国の植樹活動に参加した理由は、「これまで自分が体験したことのないことをやってみよう」と思ったからです。実際に中国に来て考え、国が違うということに対する習慣の違いというものを肌で感じました。初めての中国で衝撃を受けた事象のうち、特に印象に残った 3 つに触れたいと思います。

1 つ目は、都会と田舎の貧富の差です。日本ではどこに行ってもある程度想像がつかます。しかし、中国では東京、大阪間程度の距離でも景色が一変して違う国に来たかのような違いがありました。正直トイレの違いはカルチャーショックを受けたほどです。この時に本当に自分は外国に来ていると衝撃を受けました。

2 つ目に、植林という事業の大切さです。これは実際に現地での話を聞いて驚いたことです。自分たちが植林と

聞いて真っ先に思いつくのは地球環境対策だと思います。それ以上に現地で仕事先として歓迎されているということです。これは日本にいては感じなかったことです。現地の方々の話を聞いて近場で仕事を手に入ったことで子供たちが学校に通えているという話を聞いてそういったことにも役立っていることを知りました。

そして 3 つ目が、今回お世話になった中国の方々の心の温かさです。正直日本にいて、中国という国に良い印象を持つことはありませんでした。しかし一緒に食事をしたり、話をしたりして、日本との違いや中国で初めて目にする食べ物などを見てわからないことや気になることがあると、快く教えてくれました。こうして現地の方たちと交流をしていくと中国の人たちも日本と何も変わらないという印象が変わっていきました。というよりも日本人よ



り格段に親切で心が温かい方が多い印象です。

これらのように日本にいては全く知りえない情報を知り、感じることでできたことは自分の人生にとって非常に貴重な経験でした。今まで日本から出ようと思っていなかった自分ですが、これからはいろんな国を知り、日本にいては知りえないような体験をしていきたいと思います。



（／4 ページより続く）自然林です。

【裏話】放映前の番組を点検した NHK のプロデューサーは、「最後の自然林がなかったら、作品にはならないところだ」と話したそうです。前年にみつかったばかりでした。

GEN 自然と親しむ会 今後の予定

- 大阪市立大学理学部附属植物園での自然観察会（交野市私市）
- 日時：2019 年 1 月 28 日 10 時～14 時ごろまで 詳細は次号でご案内します。

世界人権宣言 70 周年企画 「人間」を撮る 池谷薫監督特集

「蟻の兵隊」でおなじみの池谷薫さんの映画が大阪と神戸で上映されます。
○神戸会場：12 月 8 日（土）～14 日（金）元町映画館（〒650-0022 神戸市中央区元町通 4-1-12 JR・阪神電車「元町駅」徒歩 5 分。tel. 078-366-2636 URL www.motoei.com）
○大阪会場：12 月 15 日（土）～21 日（金）シネ・ヌーヴォ（〒550-0027 大阪市西区九条 1-20-24 大阪メ

トロ中央線「九条駅」徒歩 3 分。tel. 06-6582-1416 URL cinenouveau.com）
○上映作品：「延安の娘」「蟻の兵隊」「先祖になる」「ルンタ」※上映時間は映画館ホームページ等でご確認ください。
○料金：一般 1,500 円／シニア（60 歳以上）1,100 円ほか【前売券】神戸・大阪共通 2 回券 2,400 円※各館上映開始前日までの販売



ONE WORLD FESTIVAL
for Youth
高校生のための
国際交流・国際協力 EXPO 2018
ボランティア募集

ワンフェス for Youth は高校生が主体となっておこなう国際協力・国際交流のイベントです。ポスターセッションやファッションショーなどさまざまなプログラムがあり、GEN は NGO のブースに出展します。

当日 GEN のブースを手伝っていただける方を募集しています。興味のある方は GEN までご連絡ください。

○日時：12月24日（月・祝日）10時～16時

○会場：大阪 YMCA（大阪市西区土佐堀1-5-6 大阪メトロ四つ橋線「肥後橋駅」3号出口徒歩5分 御堂筋線・京阪線「淀屋橋駅」4号出口徒歩10分）

○入場料：無料

○主催：ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 高校生のための国際交流・国際協力 EXPO2018 運営委員会、

参加者募集

GEN 関東ランチで初冬の自然観察会を行います。小石川植物園で秋冬の花や樹木を見て歩きましょう。

昨年の同時期は紅葉のピークだったようなので、タイミングが合えば紅葉も楽しめそうです。また、園内に120種類の薬用植物の見本園があり、今回は、こちらも観察する予定です。ぜひご参加ください。

○日時：12月2日（日）10時～14時ごろ（小雨決行）

○集合：各自入園料を支払い、入口右側の案内板のところに10時まで

（特活）関西 NGO 協議会

○問い合わせ：ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 事務局（〒530-0013 大阪市北区茶屋町2-30 4階（関西 NGO 協議会）tel. 06-6377-5144 fax. 06-6377-5148 e-mail: youth_expo@kansaingo.net URL http://owf-youth.com）

**GEN 関東ランチ
初冬の自然観察会**

に集合してください。

○場所：小石川植物園（東京大学大学院理学系研究科付属施設（東京都文京区白山3-7-1 都営地下鉄「白山駅」A1出口より徒歩10分、東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」出入口1より徒歩15分、都営バス（上60）大塚駅～上野公園線「白山2丁目」バス停下車徒歩3分）

○講師：桜井尚武さん（緑の地球ネットワーク顧問）

○持ち物：弁当、飲み物、敷物、筆記具、雨具、あればルーペや双眼鏡。動きやすく暖かい服装で。

○参加費：保険料400円。別途入園料（大人400円）がかかります。※今回の保険は満70歳以下の方のご加入になります。

○申込み・問合せ：GEN 関東ランチメーリングリスト、sinjuriejp@yahoo.co.jp（宮下）（11月29日まで）、GEN 事務所（11月22日まで）

いますぐできる GEN への協力

■会員の輪をひろげよう！

緑の地球ネットワーク会費（年額）	
一般会費	12,000 円
家族会費（同居の家族2人目から）	6,000 円
学生会員	3,000 円
ジュニア会員（中学生以下）	1,000 円
団体会員	12,000 円
賛助会員	100,000 円
※会費は会報購読料を含んでいます。	

■会報を購読してください！

GEN の活動に関心はあるけれど会員になるのはちょっと、という方は、会報『緑の地球』を購読していただませんか。年間購読料2,000円。

■緑化基金、運営寄付もとむ

金額は自由です。また、緑化基金、運営寄付の別を問わない使途自由のご寄付も受け付けます。その場合、必要に応じて使わせていただきます。

* 緑化基金の20%は事務管理費になります。

■書き損じはがきを集めています

書き損じはがき、古い未使用のはがきを集めています。通信費にあてます。

■未使用切手・古切手を集めています

普通切手、記念切手、外国切手なんでも OK。周囲を1cmほど残して切り取ってお送りください。

■ボランティア募集

会報発送や事務所の手伝いなどのボランティアを随時募集しています。参加可能な曜日、時間帯をご連絡ください。来ていただきたいときに GEN から連絡します。

* * * * *

【GEN への寄付は税制上の

優遇措置を受けられます】

緑の地球ネットワークは大阪市に認定された認定 NPO 法人です（期限は

2019年4月8日まで）。

個人による GEN への寄付は、税額控除あるいは所得控除を受けられます。対象となるのは2,000円を超える寄付金で、確定申告が必要です。

企業からの寄付金は一般寄付金の損金算入限度額とは別枠の損金算入限度額が認められています。

また、個人が相続または遺贈により取得した財産を、相続税の申告期限以前に認定 NPO に寄付すると、相続税の課税対象から除外されます。

GEN の場合、寄付金となるのは緑化基金、運営カンパ、おまかせカンパと会費のうち1口を超える部分、賛助会費から12,000円を引いた金額です。

また、大阪府民、大阪市民のかたには個人住民税の控除もあります。

くわしくは GEN までご連絡ください。

黄土高原史話〈90〉

北魏つながりということ（上）

谷口 義介（GEN 会員）

このシリーズ、「黄土高原史話」と題して、90回。そのうち北魏に関しては、第51回から延々と。GEN の緑化ツアー参加者にはおなじみの山西省大同が、前期の都・平城だったから、というのがその理由。

396年に成立した北魏、2年後の398年に都を平城に移し、そのあと95年間、中国北部に睨みを利かす。494年、中央に進出して河南省洛陽を都とするが、41年後の535年、東と西に分裂する。すなわち、東魏（534～550）→北齊（550～577）は河南・河北両省境の鄴（安陽・臨漳両県境）に、いっぽう西魏（535～556）→北周（556～581）は陝西省の長安（西安市）に、それぞれ都を置く。

前者は黄土高原の範囲からはみ出すが、北魏つながりということで、鄴都にあった東魏→北齊の話をもう少し。それというのも、政治史的には

北魏→西魏→北周→隋（581～619）→唐（618～907）

が主流だが、仏教はじめ北魏の文化を継承したのは東魏→北齊のラインだったから。

『洛陽伽藍記』によると、仏教都市洛陽のシンボル永寧寺の焼亡は534年2月のことだが、同年10月、鮮卑出身の実力者・高歓は、皇族の一人をかつぎ上げて新帝（東魏の孝静帝、在位534～550）とし、洛陽を捨てて鄴に移った。洛陽だと西方勢力の攻撃を受けやすいからだが、2年前の532年、高歓は河北省各地の漢人豪族と連合し、鄴を手中に収めていた。ちなみに鄴は、三国・魏の曹操（155～220）が都としていた所である。

『伽藍記』に、
帝（孝静帝）が鄴に遷都されると、寺々の僧尼たちも同時にそちらに移っていった。
というのが、『北齊書』神武紀（つまり高歓の伝記）には、
（遷都の）詔 下りて三日、（皇帝の）車駕すなはち発す。戸四十万、狼狽して道に就く。

とある。僧尼のみならず、洛陽の民戸40万も、追い立てられるごとく鄴に向かった、という次第。

翌535年、高歓は7万6000の人夫を動員して新宮を造り、あしかけ5年を費やして、これを完成。このとき洛陽の宮殿・寺院の多くは解体され、資材は鄴に運ばれた。

540年、孝静帝は新宮殿に移る。
ところが、547年の高歓の死後、もともとあった北族系武人グループと漢人官僚・豪族グループの対立が顕在化。549年、世継ぎの高澄は後者と結んで孝静帝に禅譲を迫ろうと密談中、給事役の奴隷に刺殺される。ときに29歳。あとを継いだ弟の高洋が前者らの反対を押し切って、550年、強制的に皇位を譲らす。かくして東魏は孝静帝一代にて滅亡し、高洋が北齊初代の文宣帝（在位550～559）となるわけだ。

ところが、この文宣帝。はじめは政

治に精励し、内政・外交に治績を上げて国家の基礎を固めたが、しだいに残虐・淫乱に傾いて、ついには559年、アルコール中毒の惑乱の中で死亡する。



北魏分裂後の中国

2019 春 黄土高原スタディツアー 予告



中国黄土高原の植樹ツアーに参加しませんか。木を植えたり、子どもたちと交流したり、中国の悠久の歴史に触れたりできるツアーです。

○日程：4月6日（土）～11日（木）5泊6日

○訪問先：中国河北省張家口市蔚県

（北京経由）

○定員：30名程度

○費用：198,000円（予定）学生割引20,000円 関空発着

※詳細は次号でお知らせします。

龍谷大学で ツアー報告会を 実施しました

今年8月のGEN ツアーには龍谷大学のボランティア・NPO 活動センターの体験学習プログラムを利用して3名の学生が参加しました。10月23日に龍谷大学でツアー参加者による報告会がおこなわれました。行く前は不安だったけれど、現地の人が親切にしてくれてうれしかった、行く前と後で中国という国の印象が変わった、などツアーで感じたことを報告していました。また、ウータン・森と生活を考える会のツアーに参加した学生も報告しました。



情報ひろば
いっしょなかたち

第 25 期
自然大学参加者募集

自然環境について学び考える市民大学で、室内講義と野外実習があります。

○期間：2019 年 4 月 7 日～2020 年 3 月 8 日（全 14 回。原則日曜日開催）

○定員：50 名（18 歳以上）

○受講料：35,000 円（交通費、宿泊費、野外実習の経費等別途）

○講師：只木良也氏（自然大学学長、名古屋大学名誉教授）渡辺弘之氏（京都大学名誉教授）伊藤孝美氏（自然大学教文部長）ほか

○申込み方法：郵便またはファクスでお名前、生年月日、性別、職業、住所、趣味・特技、電話番号、ファクス番号を明記のうえお申込みください。

○主催・申込み先：NPO 法人自然と緑（〒537-0025 大阪市東成区中道 3-2-34 tel. 06-6978-5060 fax. 06-6978-5061

e-mail: sizen_mi@osb.att.ne.jp

URL: http://home.att.ne.jp/iota/

2019 年度（第 17 期）
自然環境市民大学
参加者募集

春夏コース、秋冬コースの半年単位の講座です。

○時期：春夏コース：2019 年 4 月～9 月の全 17 回／秋冬コース：2019 年 10 月～2020 年 3 月の全 17 回（原則水曜日開催）

○定員：30 名程度

* 当欄掲載のイベント情報は掲載時点のもので、その後変更になる可能性があります。主催者にお確かめのうえ、ご参加ください。
* 当欄に情報をお寄せください。本紙は奇数月 15 日ごろの発行で、締切は前月の末です。なお、紙面の都合により掲載できない場合があります。ご了承ください。

○受講料：各 30,000 円（両コース申込みの場合、2 コース目は 27,000 円）

○講師：高田直俊氏（大阪市立大学名誉教授）伊藤孝美氏（大阪府農業大学校講師）佐藤治雄氏（大阪府立大学名誉教授）ほか

○申込み方法：春夏コースは 2018 年 11 月から、秋冬コースは 2019 年 6 月から受付します。氏名、性別、年齢、住所、e-mail、電話番号、ファクス番号、携帯電話、受講コース、保全協会の会員か否かを記入して電話、ファクス、e-mail でお申し込みください。

○主催・申込み先：（公社）大阪自然環境保全協会 市民大学係（〒530-0041 大阪市北区天神橋 1-9-13 ハイム天神橋 202 号 tel. 06-6242-8720 fax. 06-6881-8103 e-mail: shimin@nature.or.jp URL: http://www.nature.or.jp）

2018 南京の記憶をつなぐ
映画祭

日本初公開を含めた 4 本の南京大虐殺の映画を上映します。

○日時：12 月 2 日（日）9 時 50 分～16 時（会場受付 9 時 30 分～）

○会場：エルおおさか南館 5 階ホール（大阪中央区北浜東 3-4 地下鉄／京阪「天満橋駅」より西に 300m）

○費用：前売り 1500 円、当日 2000 円、単券 800 円

○主催・問合せ：「南京の記憶をつなぐ」実行委員会 連絡先（銘心会南京

090-8125-1757）

○プログラム：9 時 50 分 開会あいさつ／10 時～「アイリス・チャン」終了後紫金草合唱団の演奏／12 時 40 分～「南京の松村伍長」「証言者－張秀紅」／14 時 15 分～「南京引き裂かれた記憶」

おいしいぽんかん
いかがですか

★甲浦ポンカン（低農薬・動物性有機肥料のみ使用）

【歳暮・贈答用化粧箱入り】

A	2L/3L	5kg	30 個前後	4,200 円
B	2L/3L	3kg	20 "	2,800 円
C	L	5kg	35 "	3,900 円

【普通箱入り】

D	2L/3L	5kg	30 "	3,800 円
E	2L/3L	3kg	20 "	2,500 円
F	L	5kg	35 "	3,300 円

【家庭用】

G	5kg	33 "	2,800 円
ゆず酢	4 合瓶 2 本入り		4,000 円

※出荷：12 月 10 日～2 月下旬

※送料別途。20 kg まで関西 860 円、関東・甲信越 960 円。

★ご注文は

〒781-7412 高知県安芸郡東洋町大字河内 203 田中農園 田中隆一さん (tel./fax. 0887-29-2500 e-mail: tanakan3@cronos.ocn.ne.jp)

※売り上げの一部を寄付していただいています。ご注文の際は一言「GEN の紹介」と添えてください。